

OCHIS
10回目の両輪会開催
「安全衛生委」進め方テーマに

【大阪】ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は21日、「安全衛生委員会」の進め方「安全・健康を推進する協議会(両輪会)」を開催。冒頭、同協議会代表の作本貞子氏(OCHIS理事)は「ドライバーの健康管理のあり方が根本的に安全対策のルールではないかと会を重ねてきたが、皆様の熱心な思いとご尽力を頂き、第10回を重ねることができた」とあいさつした。

両輪会の今後の方向性については「業界目線」で、これからのテーマを設定していくと述べ、「荷主、元請け会社が協力会社をサポートしていくよう、業界のリーダーシップを取っていく位置づけにアップしていきたい」と語った。

情報提供として、OCHIS保健師の黒田悦子氏が安全衛生委員会の概要や設置目的のほか、検討内容などを



説明。事例紹介として、梅田運輸倉庫安全管理部課長の野口善弘氏が、安全衛生委員会の進め方や安全衛生活動計画など、実際の取り組みを発表した。続いて参加者が少人数のグループに分かれて、自社の取り組みなどについて説明。事例紹介として、梅田運輸倉庫安全管理部課長の野口善弘氏が、安全衛生委員会の進め方や安全衛生活動計画など、実際の取り組みを発表した。続いて参加者が少人数のグループに分かれて、自社の取り組みなどについて説明。

社を取り組みなどについてディスカッションが行われ、現場の情報が共有化した。

会場では、大塚食品のダイエットサポート食品やサントリーコーポレートビジネスのノンアルコールビール、東海電子のアルコール検知器がそれぞれ展示され紹介された。

協議会終了後には、情報交流会が開かれた。(山田克明)